

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	18087
課題名	緑内障点眼薬(0.1%ブリモニジン酒石酸塩点眼液)前後の眼圧変化の検討
研究期間	倫理委員会承認日 ～2019年3月31日
研究の対象	当院通院中の緑内障患者で2012年11月～2017年3月にブリモニジン点眼（アイファガン）が追加処方となった方
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：性別、年齢、緑内障病型、点眼処方前後の眼圧測定値等） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
研究の意義、目的	緑内障は不可逆的な視神経疾患であり、我が国での失明原因の第一位です。現在確立された治療は眼圧下降のみであるため、眼圧を下降させることは非常に重要であり、十分な眼圧下降効果を得るために何種類かの点眼を組み合わせる処方する場合もあります。しかし、いずれの緑内障点眼薬も副作用があり、必要最小限の薬剤数で最大の効果を得ることが重要です。2剤目以降で追加処方される緑内障点眼薬が何種類かありますが、その一つにブリモニジン（アイファガン）があり、眼圧下降効果も報告されております。当科通院中緑内障患者さんにおけるブリモニジンによる眼圧下降効果が実際どの程度か、どの緑内障病型に効果を示しやすいかなどを検討することで、今後ブリモニジンの処方がより適切に行える可能性があります。 そこで、これまでに当科でブリモニジンが処方された緑内障患者さんの診療情報を収集し、調査することが、この研究の目的です。
研究の方法	2012年11月～2017年3月までに、ブリモニジンが追加処方された当科通院中の緑内障患者さんにおいて、年齢、性別、緑内障病型、ブリモニジン点眼前後の眼圧測定値などを診療録から収集し、後向きに検討を行います。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学 眼科学講座 研究責任者：神谷隆行 連絡先：0166-68-2543